



福岡県小郡市大板井1143-1
 電話番号 0942-72-7221
 FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



新年度を迎えて

いよいよ5月1日(水)から新元号として「令和元年」がスタートしました。こぐま福祉会の創立記念も同じ5月1日(水)で、今年で38年目を迎えます。新しい時代の幕開けと共に地域社会からは益々多くの事を求められており、その期待に応えるべく日々、様々な事を見直し、改革を行なっています。

近年の状況としましては、言葉の遅れや行動面で気になる子ども達を含めた「発達障害」を持つ児の増加、それに伴い療育がスムーズに開始できず不安な日々を過ごすご家族。また制度改正に伴い、子ども達や成人の方が利用できる事業所が増えましたが、その「支援の質」はまだ十分とは言えない状況です。

こぐま福祉会は乳幼児期から成人期までの支援を行っていますが、今後も法人内のみでの支援でなく、「地域のセンター」として、行政、保育所・幼稚園、学校、医療福祉機関、職場など、様々な関連機関と一緒に連携・連動しながら利用者様やそのご家族に対する十分なサポートが出来るよう努力して参ります。

職員一同、皆様の期待に応えられるように今後も研鑽を積んで参りますので、気になる事、ご相談などありましたら、お気軽に担当スタッフまでお声かけください。今年度もどうぞよろしくお願致します。

(事業部長 木下義博)

心の窓



児童発達支援センター ゆう
かこ
佳子ちゃん

娘の佳子は2歳の頃からこぐまでお世話になり今年で4年目を迎えます。

娘は予定日よりもだいぶ早い24週555gの超低体重未熟児で産まれてきました。妊婦健診では特に異常を言われたこともなく普段通りの生活を送っていた最中、なんの心の準備も出来ないまま突然の出産となりました。待望の女の子でしたが、初めて対面した我が子の姿はあまりに小さく、痛々しく、誕生の喜びより「娘の命は助かるのか」そんな不安しかありませんでした。約4ヶ月半の入院生活を終え無事に退院の日を迎えますが、辛い検査や処置に耐えてくれた娘の頑張り、そして何よりも娘の生命力の強さに感謝しかありません。

赤ちゃんの頃の娘はいくらあやしてもくすりと笑わず「この子は私の事を母親と認識しているのだろうか？」そう感じてしまうほど母子のコミュニケーションがとれない一方通行の子育てでした。こんな状況に加え、運動面にも遅れがあつ

た為、療育をスタートさせたのがこぐま学園との出会いです。グループに入ってしばらくは椅子に座れない、移動となると頑として歩かない、手をつないでくれない等々いくつも課題がありました。ただ言葉で伝えられない娘は少しの事でも気持ち崩れ、泣きわめき、園庭に飛び出してしまふことも度々で、私はそんな娘とどう接すればよいのかわからずにいました。そんな中、グループや個別訓練の先生方にたくさん知識やアイデアを出して頂きながら、少しずつ娘の出来る事を増やしていきけるようになりました。年長になった今では、その当時の娘が想像できないほどたくましく成長し、自分のしたい事も言葉で伝えられるようになり、お友達や先生といろんなやりとりを楽しんでいます。

長男もこぐままでお世話になっていますが、正直兄妹揃っての療育生活にくじけそうになった事もありました。それでもここまで頑張つてこられたのは、たくさんさんの成長を見せてくれた子供達の存在と私達親子に寄り添って下さった先生方の支えがあったからこそです。そしてお母様たちとの出会いが私の大きな心の支えになりました。こぐまで出会えた全てのご縁に心から感謝いたします。

(佳子の母)

こぐまLINE



はるの
看護師 春野

皆様こんにちは。生活介護事業所べあクラブの春野といます。入社して、4年目になります。歳がせいか、あつという間の4年間です。皆さんと、ゆつくりお話をする機会がないので、この場を借りて自己紹介をさせていただきます。

私は、久留米市三藩町という所で植木屋の両親の元で生まれ育ちました。父は、頑固な職人肌の演歌好き。その影響で、私も演歌好きで、保育園での夏祭りや、演歌を披露するほどでした。

小学校に入り、身体も精神的にも弱かった私は、先に始めた姉に影響されて、小2から高校に入るくらいまで空手に通いました。想像出来ないでしょ？(笑)おかげさまで丈夫な身体に育ったのか、小学生の時、車にはねられ飛ばされても、バイクにはねられ溝に落ちてても、軽い打撲程度。思い出すと、つい笑ってしまいます。

私は、高校で看護師の免許を取りました。専門分野の授業が始まったくらいに、祖父が自宅入浴中に心停止し、興奮する父を落ち着かせながら蘇生処置を行ったのが、鮮明に記憶に残っています。高校卒業の翌日から自宅近所の医院で仕事を始め、

これまでいろいろな部署で仕事をしてきました。ご縁があり、こぐま学園と出会いました。

私には、7歳の長女と5歳の双子の娘がいます。長女は、発語が遅く3歳からこぐま学園で訓練を行うようになりました。その頃、夜勤にも多く入り、休日にも仕事に出ているので、子供との時間を取れていないからか、と悩みました。周りの子は上手におしゃべりできるのを見ると、何故？と考える日々でしたが、訓練に通い先生とおしゃべりで、気持ちの焦りが徐々にとれ、子供を受け入れられるようになりました。現在は、通常クラスで楽しんでくれます。

双子も妊娠中に双胎間輸血症候群という病気になり、2人とも命が：という時期もありましたが、いい先生との出会いにて、今は元気に最後の保育園生活を楽しんでいます。いい先生との出会いがあったから、話を真剣に受け止めてくれる先生がいたから、今の私があると思います。

私も、こぐまに来られる方の支えに少しでもなれたらなあと思っています。毎日頑張っている保護者の皆様もリフレッシュが大事です♪

いつでもべあクラブを覗いてください。いつもと違った時間が過ごせるかも♪
見かけたら、いつでも声をかけてください。

就学お祝い会

3月27日(水)に「就学お祝い会」が行われました。今年は一はぐ・しろくま・ゆうに合わせて21名のお子様、またひとつ新しい一歩を踏み出しました。就学されたお子様方、ご家族の皆様、おめでとうございます。

就学するお子様方は、当日の会場の雰囲気や、お祝いの為に集まって頂いた皆さんの前に、ドキドキしながらも堂々と入場。たくましく成長した姿を見せてくれました。そして、園長より一人ずつ療育証書を手渡されました。「はぐ・しろくま」「ゆう」それぞれの代表の保護者の方が、お子様の成長の過程やグループのことを思い返しながらお話をしてくださり、保護者の方々は、共感したり涙したりされながら、お話を聞いておられました。

それぞれ学校生活が始まっていることと思います。学校には、ドキドキワクワクが沢山詰まっています。新しい経験をしながら、自分らしさを大切に毎日を通してほしいと思います。スタッフ一同、ずっと応援しています。
(児童指導員 井上)

おめでとう



事業紹介

【児童発達支援センターゆう】

就学前のお子様を対象に、年齢や目的に合わせて集団療育を行っています。

園庭を思いきり走ったり、トランポリンを跳んだり、身体を動かすことが大好きな元気いっぱいのお友だちです。

最初は保護者の方と同伴通園を行い、様々なことを一緒に経験していきます。安心した環境の中で少しずつ自信をつけ、段階を追って単独通園へと移行していきます。年齢と共にだんだんたくましくなっていく子ども達を見て、私たちも感動させてもらうことがたくさんあります。

今年度も子ども達や保護者の方の笑顔がたくさんみられる楽しい活動を行っていききたいと思えます。
(保育士 大倉)



【児童発達支援センターはぐ】

就学前のお子様を対象に年齢別に集団療育を行っています。

親子同伴通園という子ども達にとって安心した環境の中で、色々な遊びにチャレンジし、一緒に楽しみ、その中で「自分でできたよ」「もつとしたい」など、子ども達のたくさんの気持ちを感じている毎日です。週1回の合同保育では同じグループ以外のお友達とも一緒に活動をしています。今年度はお父さんやおじいちゃんおばあちゃんにもたくさん療育に足を運んでもらいながら、一緒に子ども達の好きなことを見つけていき、笑い声がたくさん響く1年にしていきたいと思えます。

(児童指導員 立山)



【放課後等デイサービス こぐまクラブ】

学齢期のお子様を対象に年齢や目的に合わせた集団療育を行っています。

小学校低学年のグループは、週1回の療育を行います。個別の評価を行い、設定された様々な場面の中で、お友だちと関わりながら、個々の課題に向き合い、強みを引き出していきます。

小学校3年生以上のグループは、月に2回の療育の中で、学校や家庭とは違う場での経験を積み重ねていくことができるような内容を組み立てていきます。

中高生は、クッキングクラブ／スポーツクラブ／作業クラブと自分で興味のある活動を選び、それぞれの課題に集中的に取り組み、さらにその中で仲間と協力、試行錯誤する過程を繰り返し、それを生きる力の基にしていきます。

(保育士 西本)



お別れ遠足

3月20日(水)、「児童発達支援センターゆう」のお友だちと、城山公園へお別れ遠足に行つて来ました。道中では菜の花や、てんとう虫など春を見つけながら、それぞれのお友だちのペースでご家族と一緒に楽しく歩き、みんな笑顔で公園へゴールすることができました。達成感に溢れた表情と、お友だち一人ひとりの頑張り、またひとつ成長を感じられた遠足となりました。お天気にも恵まれ、公園では遊具やレクリエーションなどたくさん遊びました。

楽しく過ごした「ゆう」での一年の最後に、一緒に頑張った仲間と最高の思い出が出来た一日となりました。
(保育士 古賀)

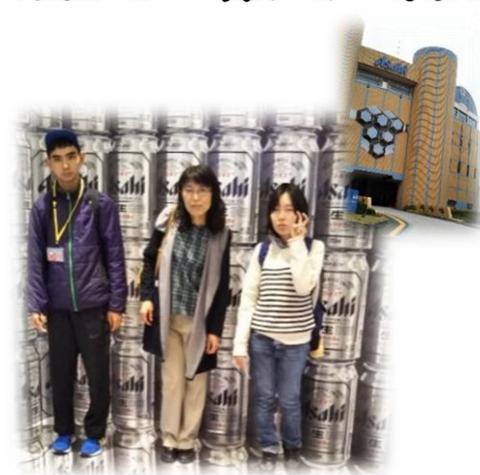


就労移行支援事業所

Work Step 余暇活動

Work Stepでは2か月に1度の頻度で訓練生が計画を立て、公共交通機関の使い方やマナーを学び、余暇の充実とリフレッシュの目的で余暇活動を行っています。今回は3月20日(水)にアサヒビール工場へ見学に行きました。西鉄電車とJRを使って最寄りの駅から乗り合わせました。乗り継ぎも計算に入れて移動します。予定通りになくても、スタッフと連絡を取りながら臨機応変な行動が必要です。毎回の経験が勉強になります。

ビール工場では麦やホップのにおいを嗅ぐなど、初めての体験をしました。工場のラインも莫大な量の製品が作られており、缶やビンの動く早さに皆さん驚いていました。天候にも恵まれ、楽しく充実した余暇活動となりました。
(生活支援員 別府)



新人紹介

みやぎき ふみか
宮崎 文佳 (作業療法士)
「いつも笑顔で頑張ります。よろしくお願いします！」



しまさき あや
島崎 綾 (生活支援員)
「明るく元気に頑張りますのでよろしくお願いします！」



よろしくお願いします



かとう あおい
加藤 葵 (保育士)
「はやく仕事を覚えて、毎日笑顔で全力で頑張ります！」



おがた あいか
緒方 愛佳 (理学療法士)
「こぐま学園をさらに盛り上げていきます！」

名前(職種) 一言



行事予定

- 7月
 - 26日(金) 避難訓練
 - 31日(水) 職員研修のため休園
- 6月
 - 12日(水) べあクラブ 社会体験
 - 13日(木) 避難訓練
 - 22日(土) 愛らんど 日帰り旅行
 - 30日(日) 第11回発達支援セミナー
- 5月
 - 15日(水) はぐ・しろくま ふれあい遠足
 - 17日(金) 愛らんど B&Gプール 開始(毎週金曜日実施)
 - 22日(水) 避難訓練
 - 23日(木) Work Step 余暇活動
 - 24日(金) ゆう ふれあい遠足

退職者紹介

- 遠藤武流 (生活支援員)
- 大島翔子 (作業療法士)
- 片岡美希 (作業療法士)
- 中島未明 (受付事務)
- 藤川貴子 (作業療法士)
- 森松天斗 (児童指導員)
- 山下峰子 (看護師)

今までありがとうございました

(五十音順)

